

日本も戦争にならないか不安



日米首脳会談＝5月23日（ロイター）

9条で平和守れる？

ASEANと協力し 平和外交で戦争防ぐ

ASEANと協力し 平和外交で戦争防ぐ

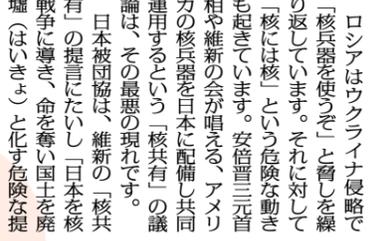
ASEANと協力し 平和外交で戦争防ぐ



憲法九条の碑＝沖縄県宮古島市・カママ祖公園

物騒なやり方で平和が保てるのかどうか。逆に、軍拡が他国の軍拡を招き、武力衝突の危機を高めるだけだ。だから戦争を未然に防ぐための外交努力が大事ではないでしょうか。憲法9条の「紛争を戦争にしない」という原則は、自衛隊が米軍と一体になって「敵基地攻撃能力」を使って相手国に攻め込む。こんな

「核には核」で対抗？



原爆ドーム＝広島市

破綻した「核抑止」論 禁止・廃絶しかない

ロシアはウクライナ侵略で「核兵器を使うぞ」と脅しを繰り返しています。それに「核には核」という危険な動きも起きます。安倍晋三元首相や維新の会が唱える、アメリカの核兵器を日本に配備し共同運用するという「核共有」の議論は、その最悪の現れです。日本被爆協会は、維新の「核共有の提言にたいし」「日本を核戦争に導き、命を奪い国土を廃墟（はいきょ）と化す危険な提言」と厳しく批判し、撤回を求めました。維新の会は、唯一の戦争被爆国の政党としての資格はありません。いま、ウクライナ危機から「核抑止」の大合唱が起きています。しかし、いま世界が目

ウクライナ危機と日本の平和 共産党の考え

ウクライナ危機をめぐり、日本の平和や国連の役割などについて不安や疑問の声があがっています。日本共産党はどう考えているか。Q&Aで紹介しします。

自衛隊なくして大丈夫？

軍拡を進める中国や北朝鮮の姿をみて、自衛隊をなくしてしまつたら日本の平和が守れないのではと心配になるのは当然です。たしかに日本共産党は、自衛隊を段階的に解消する方針をもっています。しかし、国民の多くが、そういう不安を持っている間は自衛隊をなくしません。

憲法9条に照らせば自衛隊が違憲的存在であることは明らかです。日本共産党は、9



国会議事堂

もし攻められたら？

日本共産党の「外交ビジョン」は徹底した対話と協調で東アジアに平和の枠組みを築く構想です。日本共産党が参加する民主的政権ができた場合、もめごとを絶対に戦争にしない、そのための外交力を注ぎます。

しかし、東アジアの平和環境が安定するには一定の時間がかかります。その間、万が一、日本に対して侵略などの急迫不正の主権侵害が起こるようなことがあれば、そのと

国民多数の合意得て 段階的に解消進める 党参加の民主的政権 自衛隊含め活用する

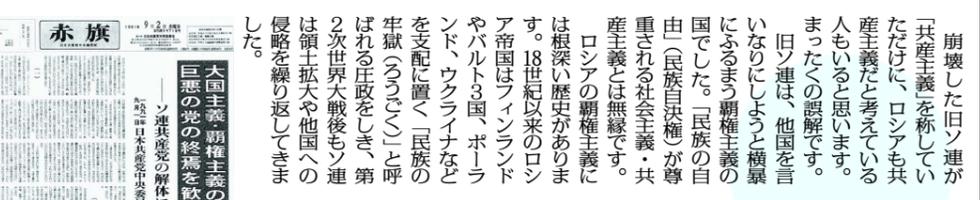
飛びにはできません。国民の圧倒的多数の合意が必要だからです。日本共産党は、自衛隊解消に向かうためには、次の3段階が必要だと考えています。

第1段階は、日米安保条約廃棄前の段階です。安保法制を廃止し、海外派兵の拡大など9条のこれ以上の蹂躪（じゅうりゆん）を許さず、軍縮に転じることが課題になります。

第2段階は、安保条約を国民多数の合意で廃棄した段階です。ここでは米軍との従属的関係の解消など自衛隊の民

主的改革が課題となります。この段階では自衛隊解消についての国民的合意はありません。自衛隊に取組むことにはありま

第3段階は、国民の合意で自衛隊解消に取り組む段階です。日本をとりもたず安全保障環境が平和的に成熟し、9条を生かした平和外交に取り組む民主的政権のもとで国民の圧倒的多数が「自衛隊なしでも安心だ」と考え、その合意が熟したところで、自衛隊解消に向かうのが本格的な措置に取り組み、これが日本共産党の考えです。



「覇権主義」そのもの 共産主義と全く無縁

崩壊した旧ソ連が「共産主義を称して」ただけ、ロシアも共産主義だと考えている人もいると思えます。またたく誤解です。旧ソ連は、他国を言いなりにしようとする横暴にあるまじい覇権主義の国でした。「民族の自由（民族自決権）が尊重される社会主義・共産主義とは無縁です。ロシアの覇権主義には根深い歴史があります。18世紀以来のロシア帝国はフィンランドやバルト3国、ポーランド、ウクライナなどを支配に置き、民族の牢獄（ろうごく）（牢獄）と呼ばれた圧政を敷き、第2次世界大戦後もソ連は領土拡大や他国への侵略を繰り返してきました。

ロシアは共産主義なの？

日本の歴史的領土である千島列島を無法に占領したり、チェコスロバキア（当時）やアフガニスタンに「言いなり政権」をつくろうと侵略したこともその表れです。

いま、ロシアのプーチン大統領は、ウクライナはロシアの「不可分の一部」だといっています。公然とウクライナはロシアのものだ、と言いつつ、その認めない覇権主義そのものの発言です。プーチン大統領は欧州に覇権をふるったロシア帝国の末裔（まつえい）だといえます。

日本共産党は旧ソ連共産党が解体したさいも「歴史の巨悪の党の終焉（しゅうえん）（終焉）（しゅうえん）を歓迎する」という声明を発表。旧ソ連やロシアの覇権主義をもっとも厳しく批判してきた政党です。党の綱領には「どんな国であれ覇権主義的な干渉、戦争、抑圧、支配を許さず、平和の国際秩序を築く」と記されています。



国連総会（2022年6月8日、ニューヨーク・国連本部（ロイター）

「国連憲章を守れ」の 国際世論大きくする

ロシアは、ウクライナから攻撃されていないのに、2月24日に突如、ウクライナ領土に一方的に軍事侵襲しました。それは国連が定めた「侵略の定義」に完全にあっては、国際法・国連憲章違反の侵略です。

国連安全保障理事会は、侵略国ロシアによる拒否権行使で、この危機に対処できません。そこで3月2日に国連総会特別会合が開かれ、141カ国の賛成で決議を採択しました。決議は「ウクライナへの武力行使を直ちに停止し、即時、完全、無条件に全ての軍を撤退させる」というロシアに要求しました。これを

は、経済制裁とともに、世界の圧倒的多数の国と国民が「国連憲章に違反する侵略は許されない」「国連憲章を守れ」という一点で結束し、国際世論で包囲していく。このことが侵略を止める一番の力になります。

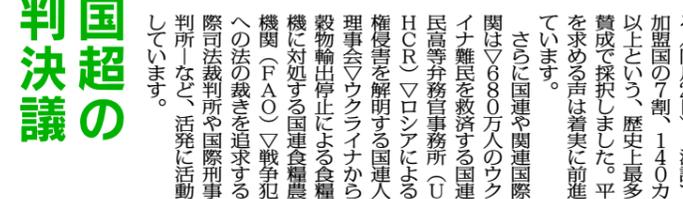
バイデン米大統領は「民主主義対専制主義のたたかい」と描き、特定の「価値観」で世界を二分する態度をとっています。「力対力」、軍事ブロックの対応を強めています。こうした対応では、戦争の拡大を招く危険があり、問題は解決しません。

国連は力になるの？

国連憲章は、各国の勝手な武力行使を禁止し、各国の主権と領土保全（領土の一体性）を尊重し、国際紛争を平和的手段で解決することを義務づけています。これは第1次世界大戦後の国際連盟以降の「戦争の違法化」の努力の到達点です。

それ以前は、戦争は各国の主権行使として容認されてきました。平和の国際秩序という客観的基準ができたこと自体が、多くの戦争を抑えてきました。戦後の武力紛争の犠牲者は、長い目で見れば大幅に減少しています。

ウクライナ危機では、侵



米ニューヨークにある国連本部（ロイター）

目「ロシアの侵略を批判し国際人道法の遵守を求める（同月24日）決議で、加盟国の7割、140カ国以上という、歴史上最多の賛成で採択しました。平和を求め、声を高く前進しています。

さらに国連や関連国際機関は7600万人のウクライナ難民を救済する国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）▽ロシアによる人権侵害を解明する国連人権理事会▽ウクライナからの穀物輸出停止による食糧危機に対処する国連食糧農業機関（FAO）▽戦争犯罪への法の裁きを目指す国際司法裁判所や国際刑事裁判所など、活発に活動をしています。

軍事ブロック強化で 外交に失敗した欧州

自民党などが「ウクライナを見る」と「日米同盟の強化」を声高に叫んでいます。これは、ヨーロッパの戦争から百八十度回った教訓を引き出すものです。ヨーロッパではソ連崩壊後、欧州安全保障協力機構（OSCE）という、ロシアを含めすべての国々が参加する包括的な枠組みが発展。1999年には欧州安全保障憲章をつくり、OSCEを「紛争の平和的解決のための主要な機関」と

日米同盟の強化必要？

軍事ブロックによる対抗の強化は戦争につながる危険を生むことになりま

定めました。ところがOSCEの機能は生かされず、NATO（北大西洋条約機構）もロシアも軍事力によって相手の攻撃を抑止するという戦略を進め、力対力に陥ってしまいました。ウクライナ侵略の責任は、あけてロシア・プーチン政権にあります。こうした外交の失敗が戦争という結果につながりました。